

所内研究報告第87号

2020年3月31日

国立社会保障・人口問題研究所 2017～2019 年度人口問題プロジェクト研究

長寿革命に係る人口学的観点からの
総合的研究

— 第3報告書 —

まえがき

わが国の平均寿命は 20 世紀後半に著しい伸長を遂げ、2018 年には男性 81.25 年、女性 87.32 年と、世界有数の長寿国となった。「日本の将来推計人口（平成 29 年推計）」によれば、平均寿命は 2065 年には男性 84.95 年、女性 91.35 年（死亡中位仮定）に達すると推計されている。このような驚異的な寿命の進展は人類の大きな達成の一つであり、「長寿革命」と称されることもある。

一方近年では、米国においては寿命が縮小、欧州においては寿命が停滞し、右肩上がりでの寿命が延びていた時代は終焉したと思わせるような事象が起こっている。世界全体でも従属人口指数が反転し、人口高齢化へとシフトした状態である。日本における寿命の延びが今後も続くのかどうか、世界の状況に照らし合わせてみる必要がある。

そのようなことから、長寿化の要因・影響に関する分析に加え、健康寿命の延伸等、長寿化の進展と健康期間の関係等に関するメカニズムの解明や、さらに得られた研究成果を国内および国際的に発信することは、わが国の人口学研究において重要な課題となっている。

本研究所では「わが国の長寿化の要因と社会・経済に与える影響に関する人口学的研究」（平成 23～25 年度）、「長寿化・高齢化の総合的分析及びそれらが社会保障等の経済社会構造に及ぼす人口学的影響に関する研究」（平成 26～28 年度）」に続き、本プロジェクト「長寿革命に係る人口学的観点からの総合的研究」（平成 29 年度～令和元年度）を実施した。その中で、わが国初の試みである「日本版死亡データベース(Japanese Mortality Database、以下 JMD)」の開発を中心としながら、人口学的・学際的分析を進めてきた。本研究プロジェクトは、①日本版死亡データベースの整備・充実、長寿化に関する人口学的研究への応用、②高齢者に関する健康および長寿者に関する研究、③高齢者の死亡過程に関する研究、④高齢者に係る学際的な研究と成果の発信という 4 つの領域から研究が推進される。また、プロジェクトメンバー（所内・所外委員）に加え、厚生労働省で統計や数理の実務に携わっている方々や民間企業のアクチュアリーなど専門家の方々に外部協力者として参加していただいている。

本報告書はプロジェクトの最終年度の研究成果を取りまとめ、「第 3 報告書」として刊行するものである。本報告書は 3 部構成になっており、第 1 部（総論）で研究の概要を述べ、第 2 部（各論）には研究班員による個別論文を収録した。また、第 3 部には本年度開催した研究会における報告資料を収録した。

令和 2 年 3 月

国立社会保障・人口問題研究所

「長寿革命に係る人口学的観点からの総合的研究」プロジェクト

(所内委員)

林 玲子 (国際関係部長)
山本克也 (社会保障基礎理論研究部長)
泉田信行 (社会保障応用分析研究部長)
別府志海 (情報調査分析部第2室長)
佐藤 格 (社会保障基礎理論研究部第1室長)
菅 桂太 (人口構造研究部第1室長)
是川 夕 (人口動向研究部第3室長)
井上 希 (社会保障基礎理論研究部研究員)
中村真理子 (人口動向部研究員)

(所外委員)

石井 太 (慶應義塾大学教授)
大津 唯 (埼玉大学准教授)
金子隆一 (明治大学特任教授)
齋藤安彦 (日本大学教授)
佐藤龍三郎 (中央大学客員研究員)
篠原恵美子 (東京大学特任助教)
鈴木隆雄 (桜美林大学教授)
高橋重郷 (明治大学兼任講師)
橋本英樹 (東京大学教授)
堀内四郎 (ニューヨーク市立大学教授)
増田幹人 (駒澤大学准教授)
フランス・メレ (フランス国立人口研究所上席研究員)

目 次

第 1 部 研究概要

長寿革命に係る人口学的観点からの総合的研究 ー第 3 報告書ー	3
--	---

第 2 部 研究論文

複合死因間関連分析へのネットワーク分析の応用 石井太・篠原恵美子・別府志海	13
--	----

外国人の死因 林玲子	29
---------------------	----

複合死因データを用いた糖尿病と関連死因の人口学的分析 別府志海・石井太・林玲子・篠原恵美子	53
--	----

日本における長期時系列死因統計の再構築に向けて 大津唯	77
--------------------------------------	----

2019 年財政検証における経済前提と整合的な マクロ計量モデル開発のための予備的研究 佐藤格・石井太・増田幹人	89
--	----

ライフコースにおける老親介護：第 1 回全国家族調査を用いた分析 中村真理子	101
---	-----

第3部 資料（本年度研究会等報告資料）

日本における長期時系列死因統計の再構築に向けて 大津唯	111
Japanese Regional Human Mortality Database: Current State and Challenges 菅桂太	121
機械学習による要介護の社会的環境要因の分析 谷口豊	133